

あきたけ



秋竹小学校 学校だより
令和7年11月14日号

「相手のことを考えられる人に」

11月10日(月)の朝礼で次のようなお話をしました。

この詩は、「みんなちがってみんないい」の金子みすゞさんの「こだまでしょうか」という詩です。

言葉は不思議なもので、自分が相手に優しく言うと、相手からも優しく返ってきます。意地悪を言うと、意地悪が返ってきます。皆さんはどちらがいいかわかりますね。意地悪や悪口を言われて気持ちのいい人はいません。相手に優しくすると自分も優しい気持ちになります。自分が褒められると、相手のことも褒めたくくなります。

逆に、嫌なことをされて、いじめられてうれしい人はいません。嫌なことや悪いことをした人は、そのときはすっきりするかもしれませんが、その後ずっと心にもやもやが残ると思います。誰もいい気分になれません。誰も幸せになれません。

言葉は「こだま」です。相手に優しくすれば、相手から優しさが返ってきます。世界中の人たちが思いやりの心をもつと、戦争もなくなり世界中の人が幸せで優しく素敵な世の中になると思います。

秋竹小学校のみんなで、思いやりの心、優しい気持ちをもって、力を合わせて頑張っていきましょう。

こだまでしょうか
金子みすゞ

「遊ぼう」というと
「遊ぼう」という。

「ばか」というと
「ばか」という。

「もう遊ばない」というと
「遊ばない」という。

そうして、あとで
さみしくなつて。

「ごめんね」というと「ごめんね」という。

こだまでしょうか。いいえ、誰でも。

「全校でみかん狩り！」

秋竹小学校の中庭のみかんの木が、今年はたくさんの実をつけてくれました。それで、念願の「全員みかん狩り」を楽しむことができました。秋竹小学校の敷地内では、いろいろな植物や昆虫が育ち、春夏秋冬、一年中、私たちを楽しませ癒してくれます。本当にありがたいことです。



「キャリア教育の一環として～稲刈り～」

今年も初代 PTA 会長の橘様と J A海部東七宝支店の皆様のご協力のおかげで、5年生、6年生の子どもたちが稲刈り体験をさせていただきました。

春の田植え、秋の稲刈り共に、本校のキャリア教育の一環としても重要な位置づけとなっています。身のまわりの仕事や環境への関心・意欲の向上を図る機会としても、今後も大切にしていきたい行事です。ご協力に心より感謝申し上げます。

なお、キャリア教育の取組として、6年生がお菓子職人のパリジャンさんや醤油職人の七宝醸造さんから仕事のやりがいや大変さ、人として大切にしたいことについて学びました。毎年、3～6年生を対象とした己書体験も秋竹小学校の特色ある学びとして行っています。

